

## 「資本主義と新自由主義」

英文法令社

佐藤 賢一

新オーストリア学派の Friedrich August von. Hayek (1899-1992)(フリードリッヒ・アウグスト・フォン・ハイエク)の著作物に筆者は頼ってこの文章を書いている。特に、「市場・知識・自由」—自由主義の経済思想— 田中真晴/田中秀夫 編訳 に頼るところが大きい。新自由主義(ネオ・リベラリズム)による「真の個人主義」とは「反合理主義的個人主義」であり、その特徴は自由主義の政府・企業・個人に存する。選挙と言うものは試験であった。国家公務員と地方公務員と同様であった。そして、その反対は集産主義(Product Gathering System)、つまり産出物を集めてきて独占する考え方であり、「偽の個人主義」または「合理主義的個人主義」とも呼ばれた。集産主義の理解は同著者の「隷従への道」—全体主義と自由— The Road to Serfdom 一谷藤一郎/一谷映理子 訳による。これを少し眺めただけで左派ケインジアン/J. K.ガルブレイスの「Voice of Poor」の意味もわかってしまった。インドの不可触賤民(Antouchables)の話で、ガ

ルブレイスが手の爪を全部切って中指で大腸癌を治療しているのが良くわかる。これに対して、右派ケインジアンの J.M.ケインズの主張は退けられたが、ロビンソン教授の「Cool head and Warm heart」は受け入れられた。統合失調症だとか精神分裂病とか色々と言うが、只の時差ボケであった(学名：スキゾフレニア)。男性が外国旅行だとか、朝、「行ってきます」の数が多すぎただけであった。女性の病気の場合もある。また、便秘も女性に多い病気である。内科の最高峰である神経科で治療は可能である。筆者も母も神経科で自立支援医療の資金的援助を受けながら元気に働いている。決して、恥ずかしくなく、差別すべきでもない。ただ単に、昔は自分の妻と性交をしているつもりが時差のために自分の娘や孫娘と性交渉をしてしまった悲しい歴史があっただけである。世界中、どこの国にもある話である。医学や物理学に干渉するのは、これ以上やめておこう。

話をもとに戻すと、集産主義の終わりとは早稲田大学の終わりであった。接近・連続・展開とは早稲田ラグビーの大西鐵之祐の理論である。慶應義塾が湖池屋ポテトチップスで来るのならば早稲田はカルビーポテトチップスで対抗してやる。K vs. W であった。早稲田高等学院は戦争を二度と繰り返さないために、A 組から K 組までしか

作らない 8 月 8 日生まれの学校である。慶應義塾高等学校ラグビー部は懐が深いが基本的に 8 月 15 日生まれの学校である。早稲田はどこかで医師に頼らないといけない。筆者もそうだが、国公立と私立高等学校入学試験は全勝合格だったが、東京都教育委員会に国公立は落ちた（不合格にされた）ことに中学 3 年生の時にされた。都立西高等学校と筑波大学附属高等学校のことである。都立西高は 500 点満点で、筑附は 300 点（ギリギリ合格）で落ちて、笑って家に帰って来たのであった。高校から、第 1 希望の早稲田大学高等学院に行つて良かった(3 教科で 100 点でギリギリ合格だつてさ)。海城高等学校、慶應義塾高等学校、佼成学園高等学校、慶應義塾志木高等学校は 500 点満点だつてさ。豆腐はもう木綿しか食わないことにした。(この辺りのことは鶯谷にある「笹ノ雪」に尋ねて欲しい。)「学ぶほど頭を垂れる稲穂かな。」スキゾフレニアならば養護学校に通えば田中角栄みたいに全員なります。「天才」と「バカ」は紙一重と言うのは本当です。「越」はベトナムのことだし、「羅」はラオスのことだし、「嘉」はカンボジアのことだし、我が日本国は偉大なる大混血の国です。でも、現代の日本人は筆者も含めて弛んでいるので、やっぱり永世中立国はスイスです。沖縄県は琉球王国に戻りたくないってさ。「ね。ち

ゆらさん。」

経済学の話に戻りたい。社会主義 (Socialism) も共産主義 (Communism) も全体主義 (ファシズム: Facism) もナチズム (国家社会主義: Nazism) も北朝鮮のような独裁軍事主義 (Dictatorship Militarism) も、全て集産主義制度 (Product Gatheringnism) の一形態である。その特徴は、モノポライニズム (独占化: Monoplized) と生産手段の国営化 (Producing Method operated by National Government) と計画主義 (Planingnism) である。ハイエクによると合理主義というものは設計主義的性格を持つので社会主義に転化するものだそうだ。いずれにしても集産主義者たちは批判されるべきである。このくらいにしておくが、あとはハイエクを読んで欲しい。

令和5年10月9日 (月曜日)

午後9時頃

### 19世紀のノーベル経済学賞

ノーベル経済学賞は、W. S. ジェボンズです。(1835-1882)

太陽黒点説

ワルラスはどなたですか？